

情報更新版発売！

2025年12月 発売開始

徹底ガイドシリーズ



インド・ネパール



Point

- ① 気候・服装、お金、通信など旅の必須情報を更新
- ② 宗教・歴史・伝統に関するコラムも掲載しています

インド入国の流れ

到着 ARRIVAL

ターミナルに到着後、バスポート、出入国書類を用意して入国審査の列に並ぶ。

入国審査 IMMIGRATION

入国審査のカウンターでバスポートと入国カードを提出。チケットの提出を求めることもある。

荷物受け取り BAGGAGE CLAIM

番号とともに荷物名を表示されたタグコードで荷物を受け取る。荷物が見つかなければ航空券に記載してあるクレームセンター(荷物引換窓口)を係員が添乗員に見せて空港会社に伝えてしまう。また、スクーバースが壊れて出でた場合、航空会社カウンターで証明書をもってくれば、証明書があれば修理にかかる費用を航空会社に請求する態にスムーズ。

税関 CUSTOMS

バスポートを提示し、検査を受ける。バスポートを受け取ったらゲートを抜け。

到着ロビー ARRIVAL LOBBY

査証係員が見つけやすいように、ツアーパッジは胸などの目立つところに付け、スクーバースにはロードマップを記入したタグを付けておく。

アグラ AGRA

シャー・ジャハーンが16世紀の年月をかけて建てたムガル帝国繁栄の象徴タージ・マハルで知られるインド観光のハイライト。

タージ・マハル

若しくなくなった夫ムスタフのために建てられた純大理石の墓廟。白大理石に施された象眼細工、左右対称の美しさはたまに思わず感動してしまう。

黒大理石のタージ・マハル

皇帝シャー・ジャハーンはタージ・マハル完成後、川の反対側に黒大理石で自分の墓廟を造ろうと計画していたといわれている。しかし、彼の皇子のウラジーリーによってアグラ城内に隠されタージ・マハルを諦めてしまった。彼の死後、黒大理石の廟は造られるなく、いまは妃妃の胸に静かに眠っている。

アグラ城

デリーのレッド・フォート(ラール・キラー)と並ぶ巨大な城、その権力者アバトルの力をそのまま表しているような大きさと力量をもった建物。

ファテーブル・シクリー

アグラ市内から南西37kmの所にあるアグラ宮の跡。預言者の言葉に従ってこの地に墓を移した皇帝だったが、水不足のために14年で再びアグラに遷都した。各宗教の融和を図ったアグラの工夫が随所に見られる。

釈迦の一生

インドは、仏教が生まれた国。北印度を中心とする佛教聖地には、現在でも多くの巡礼者が訪れる。仏教はどのように生まれ、どのように広まったのか、仏道の足跡をたどってみよう。

釈迦修業の地 ルンビニ

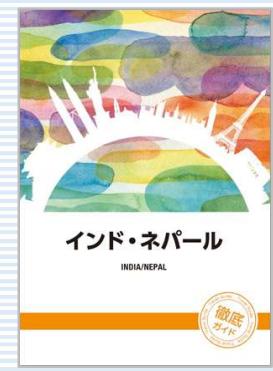
釈迦は、さかの約2500年前、インドとの国境近く、現在のネパール南部にあるルンビニで、シーキヤ基の王子として生まれた。仏祖は生まれて間もなく歩き、天地を指して「天上天下唯我独尊」と言つたといふ。

悟りを得た地 フッダガヤ

寂しい修行の末、ブッダガヤの菩提樹の下で瞑想に入った釈迦は、ついに悟りを得た。現在、釈迦悟りを開いたとされる場所にはマハーポーダー寺院があり、菩提樹の下には釈迦が坐した金剛座が置かれている。

インド旅マガジンのお客様へお伝えしたい事項が充実！

- e-Arrival Card(電子入国カード)のオンライン提出が可能に
- マナーとタブー、写真撮影、喫煙などの現地基本情報を事前
- 「トラブル対策」は、お問い合わせの多い健康と治安情報を網羅



商品名
徹底ガイド
インド・ネパール

体裁 A5正寸
48ページ
コード 10691
価格 460円（税別）

基本情報

- インド・ネパール／世界遺産
気候と服装
荷物のパッキング
持ち物チェックリスト
お金の準備と両替
海外で通信する
もしもの時に備える
持病がある人の準備
日本出国の流れ
インド入国の流れ
インド・ネパールの空港
出入国書類の準備
帰国の流れ
現地基本情報
トラブル対策／緊急連絡先

現地掲載都市

- インド
デリー
アグラ／ジャイプール
ウダイプール／ジョドプール／ジャイサルメール
カジュラホ／バラナシ
サルナート／コルカタ
ダージリン／ムンバイ／アジャンタ
オーランガバード／エローラ／ゴア
チエンナイ／南インドの町
ネパール
カトマンズ
パタン／バドガオン（バクタブル）
ポカラ
チトワン国立公園